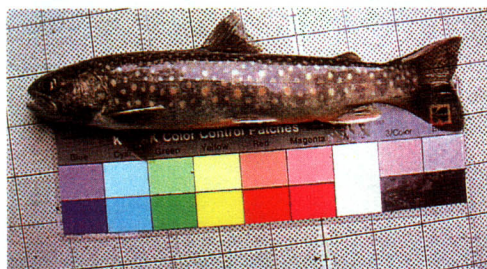


# 清流の利用と保全

近年の釣りブームや自然環境への意識の高まりから、河川をはじめとする水辺への関心が高まっています。遊漁者等のニーズに応える一方、豊かな自然環境の保全と両立した高度な利用と管理手法の開発に取り組んでいます。

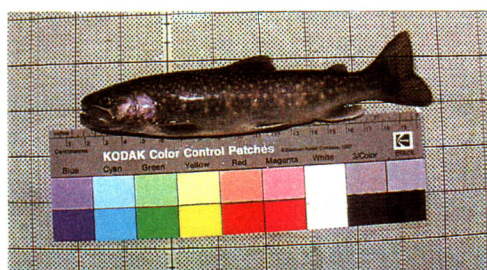
## <イワナ>

県内でも希少な原種のイワナの生態や形態について研究しています。



### ⬆️阿賀川水系イワナ原種

隔離された禁漁区で長年、護られてきた純系のイワナ。鮮やかなオレンジ色の斑紋が特徴。



⬆️同阿賀川水系の放流域で採捕したイワナ原種に比べ、斑紋の色、腹部の発色がうすい。また、内部形態では、幽門垂数などに違いがみられる。



### ⬆️生態調査

源流を遡っての稚魚生態調査の様子。稚魚の生息場所を底質や流速、底生生物など様々な環境要因について計測、調査しています。

## <アユ>

遊漁ニーズにあった放流を行うため、系統の異なるアユの特性（成長、釣れ具合等）について研究しています。



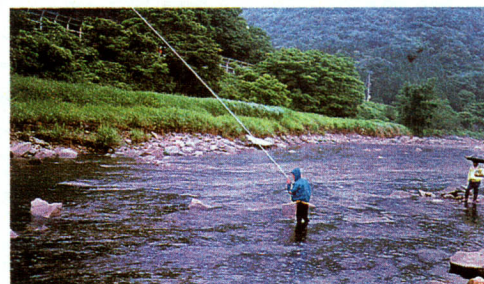
### ⬆️試験魚の放流

種苗毎の特性について比較するため、2系統のアユを放流します。



### ⬆️投網調査

解禁日の一週間前に投網による放流魚の採捕を行い成長について調べています。



### ⬆️釣れ具合の調査

それぞれの種苗の放流効果について明らかにするため、遊漁者から釣れ具合、評判等について聞き取りを行っています。